発行 全国商工会議所青年部連合会
東京都千代田区丸の内3－2－2
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03-283-7847
編集 広報委員会

翔生
（しょうせい）

平成元年（1989年）
11月1日号
通巻 第7号
（年2回 3月・10月発行）

集え!! 11月17日、自由の土佐へ

よさこい高知 あったか高知

第9回全国大会、高知で開催

[illegible]

[illegible]

第9回全国大会 スケジュール

●11月16日（木）

15:20～15:50	会員総会受付
16:00～17:00	第11回会員総会（高知新阪急ホテル・3階花の間）
17:00～17:30	（休憩・移動）
17:30～20:00	交流分科会（高知新阪急ホテルほか）
16:00～20:30	（交流分科会 ホテルタマイ）

●11月17日（金）（於：高知市ぱまんセンター）

9:50～12:00	第9回全国大会（第1部・式典）
12:00～13:00	（休憩・昼食）
13:00～15:00	第9回全国大会（第2部・記念講演）
15:00～16:30	お楽しみタイム
16:30～18:30	懇親会

自由の海・土佐からのメッセージ

高知大会
大会長 秋田 [illegible]

[illegible]

日本列島青年部

遠軽・エンジン全開!!

北海道遠軽青年部

昭和六十二年十月二十日、街づくりと明日の人材づくりを目指して、遠軽青年議会議員が誕生した。特に、商店街振興の重要が叫び上がっている時期であり、商業者の青年部の参加を求める声が強かった。

しかし、当時の青年部内にも問題があり、参加を拒むところが、理由という形で残ってしまった。この結果、外からの期待とは別に、一部会員の不信を招来することとなり、青年部は事業計画のために、会員をかき集め、自分の所属団体のイベントを優先する者を次々に切り捨てた。

以来、町内各種イベントの協力、共催、さらには、主催者になる等、特定の会員のみが活動するようになった。一時は全滅する状況になると、多くの会員の上に立って、活動資金を確保しよう、事業費用に力を注ごうということとなった。

今年に入ってからは、街づくりのための町並フォーラムを主催し、多数の町並の写真をまとめた資料集を作り、関係機関・団体に配布する等、会員の結束できる環境になってきた。

その後、当時を全員であったユニティ・マート構想をテーマ事業の実現推進を受けた。このマート構想実現のために、都市計画決定された道路沿線の一部、とも道路を含むにより、街づくりに協力をする約束である。

また、遠軽町は、自動車一道二十五号線沿線改良が計画している。都市の玄関口の道路の整備を図るべく、運動を展開している。当町には、自動車関係団体はそれぞれの目的を持って活動している。しかし、他動の活動している団体もあり、自治・地域内団体間の一層協力体制の不備等も指摘されているのが現状である。

青年部では、各団体を別個に全町的な組織を作り、先の活動を推進するべく、我の責任感に呼びかけ、総意事業をしているところである。さらに今年は、遠軽商工会議所の国土開発の年である。会員の中には六人の議員(うち青議員二人)もおり、積極的な協力体制をとっている。

これら一連の事業を通じてますます会員の結束を図り、来世紀の北海道ブロック地域青年団協議会研究会を迎えたいと考えている。

日本一の芋煮会

山形県山形青年部

成功へのてんまつ

一体、何でこれでおいしいのかとうかがも分からない、直径五メートルの大鍋というと、まるでプールのようなものだから、「これぞれも大量のダシを取らないように」と、山形市役所に注を引かれた。

本番一週間前になってやっと大鍋は出来上がり、試験をテク検査を兼ねて、そるでする。だが、地元に通じない。つまり煮たないのだ。当初は鍋を支える釜と十二の内部物に鍋が耐えられるか、もっぱら力学的な疑問の方が大きかった。

しかしやってみると、火力が非常だったことから、鍋の割が早くなり、「僕はもっぱりバカだった」とかってでも、本番はあと数日、残ってくれている会員の皆も多い、仕事はもちろん皆の時間も削って、成功のために時間している連中だ。もう、地元の人たちの協力なくしては、この芋煮会は成功しないことを知っていた。

当日の人数のひとつは午前、前日の準備、後片付けに参加した人数は、約一万人。

青年部では、各団体を別個に全町的な組織を作り、先の活動を推進するべく、我の責任感に呼びかけ、総意事業をしているところである。さらに今年は、遠軽商工会議所の国土開発の年である。会員の中には六人の議員(うち青議員二人)もおり、積極的な協力体制をとっている。

これら一連の事業を通じてますます会員の結束を図り、来世紀の北海道ブロック地域青年団協議会研究会を迎えたいと考えている。

熱く燃えた九千人

街づくりコンサート

富山県黒部青年部

去る5月14日、富山県黒部市にある黒部山野外ステージ・ミューズで、未来クラブ、赤チャンバ、NAOを迎えての街づくりコンサート「HOT PIPLD'89」が開催され、県内外から九千人の若者を動員することに成功した。

このHOT PIPLDコンサートは、黒部市、黒部に住む若者が一丸となれる場所、同時に地元の若者の参加を目指して、市制三十周年記念イベントとして他の特色づくり、街づくりとなる事業というよりで、主役である青年と名のつく五つの団体(青年部会、青年会議所、商工会青年部、観光協会青年部、農協青年部)が集まり、実行委員会を組織し、約一年間をかけて準備してきた。

しかし、当日の雨である。

盆栽大会に大役果たす

埼玉県大宮青年部

昭和六十二年四月十五日、彼岸入りとなった大宮市の盆栽センターは、いつもの静かさとは違った賑やかさに包まれていた。

大宮市は盆栽・土壌改良協会の総本部であり、東日本の盆栽の中心地である。また、この四月より盆栽国際見本市が毎月十六日開催され、世界への盆栽の一歩が大宮から始まるようになった。

先に行われた「世界盆栽大会」には三十一カ国七百余人の参加者があった。この時は、青年部の主な活動の盆栽村の盆栽展示場の受付や、より多くの人に盆栽を知ってもらうために、無事大役を果たした。

現在、県工会議所は全国に四百九十四の商工会議所と青年部が設置されている。いずれの青年部も街工会議所活動の活性化及び地域経済社会の発展のために、地域に根差した幅広い活動を展開している。今回は、これらのうち遠軽(北海道)、山形(山形県)、大宮(埼玉県)、黒部(富山県)、豊橋(愛知県)、下関(山口県)、愛媛県連の七青年部、一部重の事業について、紹介する。

▲芋煮会の大鍋(山形)

▲街づくり町民フォーラム(遠軽)

"いきいき"

下関海峡まつりに参加　市制百周年を盛り上げ

山口県　下関青年部会

下関商工会議所青年部会は、[illegible]下関の「地域活性化」[illegible]。イベント活動としては、[illegible]われた「下関海峡まつり」への参加がある。今年は市制百周年記念ということもあって、例年より規模・内容とも大きく行われた。[illegible]

[illegible]「海峡グランプリ」[illegible]

[illegible]

▲海峡グランプリ（下関、下も）

▲長さ15メートルの鉄板でお好焼

"グッドライダーキャンペーン"　全国の若者が鈴鹿の夜を満喫

三重県　鈴鹿青年部会

七月二十九日、鈴鹿サーキットグランドスタンド特設ステージで開催された八時間耐久レースの前夜祭に、鈴鹿商工会議所青年部会が「出会い・ふれあい」「グッドライダーキャンペーン」をキャッチフレーズに、イベントに参加した。

このキャンペーンは、青年部会が「四時間耐久レースの参加」「青少年のイベント参加」「全国の青年経営者のホームステイの実施」という三つの柱を軸に、鈴鹿に集まる若者へ交通安全の啓蒙を呼びかけるというもので、まさにモータースポーツの街「鈴鹿」にふさわしい企画[illegible]

[illegible]

「グッドライダーキャンペーン」[illegible]

▶鉄砲隊の行列（滋賀）

井伊の赤備え　彦根鉄砲隊　観光彦根に喝！

滋賀県　彦根青年部

[illegible]

海外研修など実施　「愛媛県連をよろしく」

愛媛県　青年部連合会

[illegible]

▶「よろしく」（愛媛県連）

[illegible]

商青連役員 石川日商会頭と懇談

商青連側出席者

▲石川日商会頭を囲んで商青連役員

青年経済人は 大きなビジョン持て

青年としての自覚なければ定年

商工会議所は日本経済そのもの

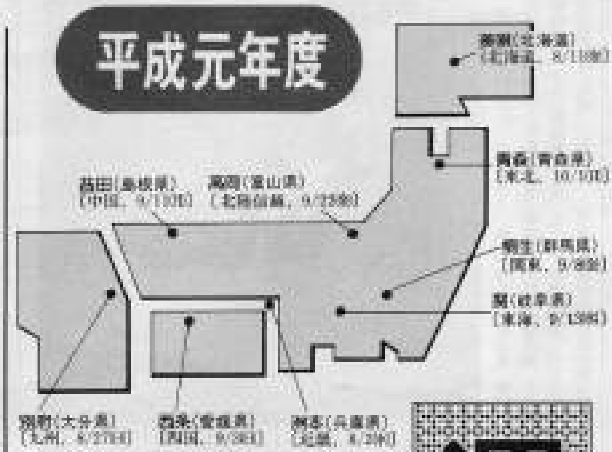
青年部は盛り上がる力で

会議所から遊離した活動はダメ

石川会頭

"大変いい機会だった" 連絡とり合いながら活性化へ

平成元年度 運営研究会リポート



全国商工会議所青年部連合会と日本商工会議所は八月から十月にかけ、全国九ヵ所でブロック別の運営研究会を開催した。いずれのブロックも「商工会議所活動に果たす青年部の役割」（平成元年度統一テーマ）などをテーマとした分科会をはじめ全体会議、記念講演、懇親会、エクスカーションなどを実施。地域の枠を超えた青年部相互の交流の輪が広がった。以下、各ブロックの幹事青年部から報告いただいた内容を紹介する。

北海道ブロック　釧路商工会議所青年部

[illegible]

東北ブロック　青森商工会議所青年部

[illegible]

北陸信越ブロック　高岡商工会議所青年部

[illegible]

▲第一分科会「都市づくりと青年部」の会場内（関東）

関東ブロック　桐生商工会議所青年部

[illegible]

東海ブロック　関商工会議所青年部

「拓けよう友情の輪 創ろう新時代の日本」を大会スローガンに、平成元年度東海ブロック連絡研究会を九月十三日、天下取りの出世城・織田信長で知られる[illegible]川中島にある[illegible]市で開催したところ、東海三県より関係者三百人余の参加を得て、青年部の果たす役割などについて熱心な意見交換、交流を深めた。

研究会では、三つの分科会に分かれ、第一分科会は「若手経営者の確立を目指す青年部の役割」、第二分科会は「地域社会に果たす青年部の役割」をテーマにして、それぞれパネルディスカッション形式で討論した。このうち、第一分科会には、日本商工会議所小規模事業振興・経営委員長より「商工会議所青年部の[illegible]」と題した基調講演が行われた。

また、第三分科会では、めまぐるしく変化する経済社会の中で、青年部を担うリーダーとして地域社会の発展のために何を学ぶべきか、何が出来るかについて討議していただいた。

[illegible]

四国ブロック　西条商工会議所青年部

第六回（平成元年度）四国ブロック商工会議所青年部連絡研究会は九月二日、西条商工会議所青年部の主管により、西条商工会館で開催された。

[illegible]

中国ブロック　益田商工会議所青年部

中国ブロック連絡研究会は九月十一日、益田市の[illegible]で[illegible]の参加を得て開催された。

[illegible]

近畿ブロック　洲本商工会議所青年部

平成元年度（第七回）近畿ブロック商工会議所青年部連絡研究会は、洲本商工会議所青年部の主管で、八月二日、洲本市の県立淡路文化会館をメインにして開催した。

[illegible]

▲みんな輪になって（懇親会風景）

九州ブロック　別府商工会議所青年部

[illegible]

若手経営者に期待

松江商工会議所
会頭　大谷　昌　行

「若手経営者」と聞くと、「二代目」という言葉に続けていく。すべてがゼロから出発し戦後の復興期の中で、この日本の経済を築いた業界で会社を大きくされた、強烈な個性を持った「先代」と呼ばれる経営者層であったと言っても過言ではない。それだけに、その後を継いだ二代目は、常にこの先代と比較されるプレッシャーとして、常に意識しなければならない立場にある。このような中で、先代よりも優れた企業を[illegible]水準に保ち、また維持していくためには、経営者として強くアピールする個性と強烈な経営ポリシーが必要であることは言うまでもない。会社と自分の将来の姿を明確にし、その目標に向かって努力していく中で自信と誇りが生まれ、先代を超えていく力となるのではないだろうか。

[illegible]

しかし、この厳しい変化と困難は、中小企業に与えられた[illegible]として受け止めていくべき[illegible]

[illegible]

[illegible]ほしいと願うものである。

若い情熱かたむける
委員会活動状況

商青連は本年度、「拡げよう友情の輪　創ろう新時代の日本」をスローガンに掲げ、①組織の拡充・強化、②研修・研究活動の充実、③広報活動の推進、④主要会議・交流会の開催、⑤[illegible]活動の推進、⑥「青年部への提言」等のフォローアップの推進、を事業計画に盛り込んで各種の事業に取り組んでいる。そこで、[illegible]の組織強化、研修、広報、特別の五委員会の委員長に、その活動状況について報告していただいた。

■総務委員会

委員長　鈴木　[illegible]

[illegible]

■組織強化委員会

委員長　町田　雅之

組織強化委員会の活動は、本年度スローガンの中の「拡げよう友情の輪」に象徴される。[illegible]

■研修委員会

委員長　山本　晃正

[illegible]

■特別委員会

委員長　水尾　一二

本年度の特別委員会は、[illegible]

■広報委員会

委員長　小林　幹生

[illegible]

商工会議所青年部の設置状況

[illegible]（平成元年10月1日現在）

ブロック名（設置数・率）	都道府県名（会議所数）	商青連会員青年部（242）
北海道（14/40）（35.0%）	北海道（40）	[illegible]（11）
東北（27/42）（64.3%）	[illegible]	[illegible]
北信越（32/50）（62.0%）	[illegible]	[illegible]
関東（46/94）（70.2%）	[illegible]	[illegible]
東海（22/44）（50.0%）	[illegible]	[illegible]
近畿（43/67）（64.2%）	[illegible]	[illegible]
中国（33/51）（64.7%）	[illegible]	[illegible]
四国（26/29）（89.7%）	[illegible]	[illegible]
九州（48/76）（63.2%）	[illegible]	[illegible]
特別会員	[illegible]	（26）

平成元年度の委員会構成

◎＝委員長　○＝副委員長　（敬称略）

〈総務委員会〉
◎鈴木 [illegible]
○[illegible]
[illegible]

〈組織強化委員会〉
◎町田 雅之
○[illegible]
[illegible]

〈研修委員会〉
◎山本 晃正
○[illegible]
[illegible]

〈広報委員会〉
◎小林 幹生
○[illegible]
[illegible]

〈特別委員会〉
◎水尾 一二
○[illegible]
[illegible]

編集後記

[illegible]（小林幹生）